

第5章 今後の取り組み

1 実施・検証の考え方

本計画は10年間の実施計画ですが、その後は財政状況や環境の変化に応じて計画を見直す必要があります。

P D C A サイクルにより継続的に管理を行い、計画の精度向上・見直しを行いながら、将来にわたり適切な公共施設マネジメントを行っていきます。

2 今後の取り組み

(1) 補助金制度の活用が可能な施設の把握

公共施設マネジメントに関する新たな取り組みを実施する際は、法律や制度、補助金について整理します。羽生市における公共施設のうち、補助金制度が活用可能な施設について把握し、建物の改修・更新にかかる実質的な支出を見据えて計画を実行していきます。

(2) 関係所管課と連携した取り組み

公共施設マネジメントは、市全体の公共施設のマネジメントについて統括管理する部門を中心に関係所管課との連携を図りながら、公共施設の適切な改修・更新を行っていきます。

(3) 財政上の対応

公共施設マネジメントにおいては財政状況を踏まえた対応が必要です。個別施設計画では費用の平準化を考慮し、今後40年間の施設の対応時期の一覧を掲載していますが、対応に当たっては財政状況を鑑み、実施の是非を慎重に検討します。また、財政状況を踏まえた個別施設計画の見直しを適宜行うものとします。

羽生市公共施設個別施設計画

発行年月：令和3年3月策定

令和4年3月改訂

発行：羽生市

編集：羽生市 企画財務部 財政課

〒348-8601

埼玉県羽生市東6丁目15番地

電話：048-561-1121（代表）

E-mail：keiyaku@city.hanyu.lg.jp